

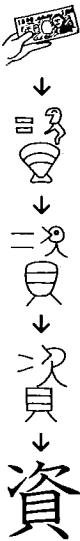
# 資

五年

回数 13  
筆順

オン シン 次 資

成り立ち



「次」という意味の「次」と、お金の意味を表した「貝」とを組み合わせて作った字です。

「お金の次」にたいせつな物」という意味の字で、商売の「元手（資本）」と言います。「や、商品の「材料（物資）」と言います）などの意味を表したものです。

「元手」 例資本、資金、投資、資力。

「材料」 例物資、資材、資料、資源。

また、「元手」も「材料」も「ある目的を達するために必要な「元になるもの」ですから、「もとになるもの」という意味に使われます。例資格、資質。

使い方

▽資金がすくないので、事業を広げたくても広げられませんが、

▽資源が豊かなので、これを活用する能力さえあれば将来の心配はありません。

▽先生になる資格を取って、先生になりたいと思います。

熟語例

▽資本（事業の基になる財産。「元手」とも言います。）

▽資金（事業をするのに必要なお金。資本金）

▽資力（事業をするのに必要な力。つまり、資金のことです。）

▽物質（生活していくために必要な物、および、その材料）

▽資材（何かを作る材料として役立つ物）のことを言います。）

▽資料（研究や判断の基になる材料。「資材」も「資料」も、「元（基）」となる材料」という意味ですが、使う分野が右のように違いがあることに注意）

▽資格（ある地位を与えるために必要な基準。資格を得るための試験があつて、それに合格すると得られます。）

# 飼

五年

回数 13  
筆順

オン シン 飼 飼

成り立ち



「つかさどる（取りあつかう）」という意味を表した「司（4年531）」と、「食」とを組み合わせて作った字です。

「食べ物をつかさどる」という意味の字で、人が動物に食べ物を与えて育てることを表した字です。

「動物を「飼う」ことを表した字です。

七三〇

五年

使い方

▽昔は、どの家でも「蚕」を飼っていたそうです。蚕を「かいこ」と言うわけは「飼い子」ということで、どの家でも飼っていたのでそう言ったのです。

▽おとなりでは熱帯魚を飼育しています。熱帯魚を飼育するのは、食べ物よりも水温がたいせつで、なかなか骨が折れるそうです。

熟語例

▽飼育（飼って育てること。生き物にえさを与えて育てること。）

▽飼料（家畜に与える食べ物のこと。人の食べる物は「食料」と言い、飼われている動物の食べる物は「飼料」といって区別します。「えさ」とも言います。）

▽放し飼い（家畜をおりに入れたり、つないだりせずに、自由に放してやって飼うこと。例北海道では、牛が放し飼いされていました。）

▽子飼い（小鳥をひなの時から飼育すること。また、そのように「他人の子どもを手元において世話をし、一人前に育てること」にも言います。例加藤清正は秀吉の子飼いの家来です。）

七三二

五年